

平成26年度 事業計画

基本方針

我が国は世界に類を見ない速さで高齢化社会が進展しています。このように高齢化が進む中で社会の活力を維持するためには、経済の安定した発展と意欲と能力のある高齢者が可能な限り社会の支え手として活躍できるよう、高齢者の「居場所」を地域社会に確保しておくことが喫緊の課題でもあります。

シルバー人材センターは、地域社会と日常生活に密着した就業機会を確保、提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図るうえで、重要な役割を果たしてきており、シルバー事業は、今後ますます重要な施策となってきます。

このような状況の下、平成26年度に団塊の世代が65歳を迎え、労働市場から退出することを踏まえ、魅力あるシルバー事業を展開していくことが重要です。

このため、当シルバーの運営の効率化を徹底する一方で、就業機会の確保、会員拡大等について重点的に取り組み、シルバー事業の活性化に結び付け、60歳以上の高齢退職者の就業ニーズに応えていく必要があります。

「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、これまで以上に会員と役職員が一丸となり、就業機会の開拓や会員の確保を図り、就業を通して地域の人々との間に「顔の見える信頼感と助け合い活動」を提供し、地域社会からの「信用と信頼」と地域社会に貢献するシルバー人材センターとしての社会的役割を全うできるよう努めていきます。

以上の「基本方針」のもと、当センターの今年度における具体的な努力目標を次のとおり計画します。

1. 就業機会と就業開拓

地域社会にシルバー事業の周知を図るため、会報の発行、パンフレットの配布、市役所前庭の除草と剪定等の会員有志によるボランティア活動や10月のシルバー事業普及啓発月間中の街頭啓発を実施し、シルバー事業の社会的意義を広くPRするとともに、鳥取県シルバー人材センター連合会の就業開拓員を活用していく。

また、市が「地域人づくり事業」として取組まれている「伯州綿栽培事業」をシルバー事業の「地域ニーズ対応事業」の対象事業として取組まれるよう引き続き、市に対して提案し、当シルバーの活性化に繋げていきたい。

なお、本年度も昨年に引き続きシルバー事業の内容等を示したチラシを市報の折り込みを活用し、広く市民の皆様にシルバー事業を周知するとともに情報等の開示に努めます。

2. 会員の拡大

- (1) 入会説明会は入会を希望される方の日時に併せて開催するよう努めます。(随時開催)
- (2) ホームページの充実、折り込みチラシ、広報紙、街頭キャンペーン等で会員及び役員による入会活動を推進します。
- (3) 職員、役職員だけでなく会員各々の新規会員の勧誘への協力をお願いします。

3. 安全・適正就業の確立

事業の実施にあたっては、安全・適正就業が基本です。一人でも多くの会員に就業を提供するための「安全・適正就業」に努めるとともに、事故を起こさない細心の注意を一人ひとりの会員に自覚して貰うため「安全・適正就業」を推進します。

また、事故を未然に防止するために、次の活動に取り組みます。

- (1) 鳥取県シルバー人材センター連合会の専門家の指導を受け「安全パトロール」を実施する。
- (2) 当シルバー独自の「安全パトロール」の回数を増やして実施する。
- (3) 「安全就業に関する標語」を募集し、スローガンとする。

4. 組織の充実

会員のための会員の組織であることを再確認し、組織活性化に向けた取組みを行う。

- (1) 会員の高齢化が進み世代交代が図られていないことから、地域班、職群班の班長の若返りを図ることとする。
- (2) 職群班の「班長会」は随時開催し、地域班及び職群班の会議を定期的で開催し、事務局と会員との関係を密にする。

5. 講習会の推進

高齢者の会員で組織し就業する団体として、将来にわたり地域に貢献できるよう技能や安全意識を高め、かつ、後継者の確保に努めるとともに会員の技能の習得向上を図るため、当センター独自の剪定講習、障子・襖等の張替講習の短期講習会を開催する。

6. 事業功労者等表彰

当センターの事業に貢献された事業運営関係者及び発注者に「感謝状」を、役職員及び会員に「表彰状」を定時総会において贈呈する。

7. 配分金の見直し

平成26年4月から消費税が増税されることと現行の配分金が10年以上見直されていないことから、現行の配分金の見直しを行う。ただし、事務費については、平成25年4月に6%から7%に見直しており、今年度は据え置くこととし、事務費の見直しについては、今後の運営状況を見極めたうえで検討していく。

8. アンケート調査

当シルバーの利用者に対するアンケート調査を本年度も引き続き行います。

この調査の目的は、これまで利用者から苦情やご意見を毎年受けてきておりますが、当シルバーの「信用と信頼」を得るためにも、利用者からの苦情も含め、ご意見、ご要望を聞き、会員の皆様にも情報を開示し、今後の当シルバー事業運営に活かしていくこととする。